



紀宝町

議会だより

平成22年3月1日発行（第15号）



いざ、鬼との戦い!?

子育てサロン「みれんZoo」

議 会 日 誌

平成21年 10月 ~ 12月

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 10月1日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 17日 | 国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会総会（大阪市） |
| 9日 | 東紀州農業共済事務組合議会（熊野市） | 25日 | 議会運営委員会、全員協議会 |
| 14日 | 総務財政常任委員会
全員協議会
議会議員定数調査特別委員会 | 30日 | 第3回臨時会
議会議員定数調査特別委員会 |
| 21日 | 紀南環境衛生施設事務組合行政視察（秋田県）〔22日まで〕 | 12月1日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町） |
| 11月6日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 4日 | フェリー「ありあけ」現地視察 |
| 9日 | 議会運営委員会 | 8日 | 議会運営委員会 |
| 11日 | 第53回町村議会議長全国大会（東京都）
紀宝バイパス対策特別委員会
議会議員定数調査特別委員会 | 9日 | 教育民生常任委員会
暴力追放南牟婁郡町民会議理事会・総会 |
| 13日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動（東京都） | 15日 | 第4回定例会・第1日目 |
| 16日 | 紀南環境衛生施設事務組合議会臨時会（新宮市）
災害・環境保全対策特別委員会 | 16日 | 第4回定例会・第2日目 |
| | | 17日 | 第4回定例会・第3日目
議会中継調査特別委員会
議会議員定数調査特別委員会 |

— 紀宝町議会 —

2 人の新議員加わる

門脇庸二議員死去、矢熊敏男議員の議員辞職に伴う、町議会議員補欠選挙の開票が、平成 22 年 1 月 24 日に行われました。

選挙は、欠員 2 人に対して 3 人が立候補し、開票の結果、塩野真氏、鈴木學氏が当選しました。

任期については、前議員の残任期間である平成 23 年 2 月 9 日までとなります。

また平成 22 年 2 月 1 日に臨時議会が開かれ、新議員の議席・所属委員会等が決まり、紀南環境衛生施設事務組合議会議員に大石洋議員が選任されました。



しおの まこと
10 番議席 塩野 真
井田（38 歳）
無 所 属



すずき まなぶ
8 番議席 鈴木 學
鶴殿（61 歳）
無 所 属

新議員紹介（議席順）

委員会構成

各委員会構成は、次のとおりです。

（◎は委員長、○は副委員長。以下は、議席順）

■ 常任委員会

◆ 総務財政

◎ 阪本 守央 ○ 北山 千恵
石垣 憲一 鈴木 學
塩野 真 平野美津子
矢熊 達雄 大石 洋

◆ 教育民生

◎ 市川 潔 ○ 北山 千恵
向井 健雅 西村喜久男
地案 光徳 平野美津子
大石 洋 登立 元吉

◆ 産業建設

◎ 向井 健雅 ○ 石垣 憲一
尾畑 啓嗣 西村喜久男
塩野 真 登立 元吉
矢熊 達雄 阪本 守央

■ 議会中継調査特別委員会（平成 21 年 12 月 17 日設置）

◎ 榎本 健治 ○ 北山 千恵
市川 潔 塩野 真 西村喜久男
平野美津子

新議員所属特別委員会

特別委員会名	鈴木 學	塩野 真
紀宝バイパス対策	○	○
井田海岸浸食対策	○	○
災害・環境保全対策	○	○
議会中継調査		○

12月定例会 一般質問

(要約)

地案 光徳議員



・フェリー座礁事故について
・政府の行政刷新会議が行
う事業仕分け

——フェリー座礁事故

議員

御浜町沖で横転し座礁したフェリーありあけの件で、船体の撤去と漁協への対応について。11月13日に発生した、フェリーありあけが横転事故を起こし、約1週間後18日3時半よりフェリー会社により事故処理を委託された、日本サルベージの台船が大型フェリーありあけの船体に穴を開け、毎時3キロリットル回収ができるポンプでタンク内の燃料を抜き取る作業に入ったが、この時点ではタンクにどれだけ入っているかは判明できなかったが、今では積載燃料はA重油63キロリットル、C重油451キロリットルとあります。この抜き取り作

平成21年第4回紀宝町議会定例会は12月15日に開会しました。
第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、第3回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、工事請負契約の締結案件を可決し、一般質問が行われ、第2日目の16日にわたり9人の議員が、諸課題について当局の考え方を質し、活発な議論が交わされました。
第3日目の17日に議案審議に入り、監査委員・公平委員会委員の人事選任案件2件、平成21年度一般会計補正予算案件並びに特別会計補正予算案件3件、訴えの提起案件1件をそれぞれ可決。続いて、人権擁護委員の推薦についての答申書を提出、議会中継調査特別委員会設置に関する決議を可決しました。次に、議会議員の定数を定める条例を制定し、閉会しました。

業に入って早や4週間にもなっていますが、後どれくらい残っているのか、また二次災害につながるかもしれない積荷の自動車や重機等による油の流出等はないのか。

担当理事

11月13日のフェリーありあけの海難事故については、積載燃料のA重油63キロリットル、C重油451キロリットル、計514キロリットルのうち、重油の一部が流出し事故当日には井田海岸で重油の漂着が確認されました。翌14日から海上保安庁の指導監督の下、マルエーフェリーの委託を受けた海上災害防止センターにより、浮流油の吸着剤による回収、船舶による放

議員

水拡散、吸着剤併用のオイルフェンスを設置するなどの油防除作業が行われており、浮流油は現在ドラム缶122本相当分回収されました。なお船体の燃料油は後100キロリットル以下と報告を受けています。積荷の自動車等からの燃料油の流出はないと報告を受けています。
二次災害が起らないよう、十二分に監視していただきたい。次に人体などに悪影響を及ぼすような物が積載されていないか。また船体の移動問題で現場解体かとの新聞報道も出てい

る。こういったことで、地元漁協の方、また多くの関係者の方々が心配している。そこで三ツ矢先生、森本県議、そして県の防災関係の幹部等も現場視察し、地元漁協の方とも今後の協議もしていただきたい。そして12月4日には御浜・紀宝の両町議が現場視察をしました。思ったことは、あの巨体なフェリー船の横転により、七里御浜のきれいな海岸が台無しにされた思いになりました。いずれにせよ、一日も早い曳航しての撤去を要望します。



座礁した「ありあけ」

町長

私どもも大変心配をしています。紀南漁業協同組合と御浜町・紀宝町で紀南振興協議会を作っており、また事故が発生してからありあけフェリー海難事故対策漁業関係者機関連絡協議会などの会議も作っています。県においても地元議員皆さま方にも大変心配をいただいています。そういった多くの皆さま方からご要望をいただき、また漁業者の皆さまからも要望をいただいで、当町としても漁業者に対してできる限りのフォローをしていかなければならないと強く思っています。12月9日にマルエー株式会社へ紀宝町長、御浜町長、紀南漁協組合長の連名の下、要望書を提出いたしております。ただ撤去についてはまだ正式に決まっていない状況です。曳航して撤去してほしいというのは県も地域も私どもも同じ思いです。この辺は大きな課題ですので、しっかりと漁業者とマルエーフェリーともつめながら進めてまいりたいと思っています。

議員

人体に悪影響を及ぼすよう

な物質とかの積荷がないとことですが、積荷によっては化学反応を起こす可能性もあるかも知れないので、充分に町としても監視をしていただくよう要望いたします。

行政刷新会議の 事業仕分け

議員

政府の行政刷新会議が行う事業仕分けについて当町が関係する分で分かっている範囲で各課ごとに事業名と予算額を教えていただけますか。この事業仕分けは公明党が最初に主張し、小泉政権下で制定した行政改革促進法に明確に規定した。制度の中身にも踏み込んだ仕分けの作業を行えば恒久的な制度改変、コスト削減に結び付くところ。新政権も同法に基づき、作業を進めていくと理解しているが、斉藤鉄夫政務調査会長は2009年度一次補正予算の執行停止について、約3兆円分は10年度予算案の概算要求でその多くが復活している。それでは民主

党が執行停止の理由を不要不急でムダだから削ったとしたのはウソだったということになるといっている。いずれにせよ当町においてもこの事業仕分けの余波があると思います。各課ごとに教えてくださいます。

担当理事

地方交付税がどのようなふうになっていくのかということですが、地方交付税を抜本的に見直しするには、各方面において相当の議論が必要であり、時間を要するものと考えられますので、来年度の地方交付税には反映される段階ではないと考えられます。

担当課長

鳥獣防止総合対策事業については、なんらかの影響があると思いますが、他の事業についてはそれほど大きな影響がないと思われます。

担当理事

防災関係は今のところ影響はないと考えています。

担当課長

来年度にはICTについて廃止と聞いています。教育分野で公立学校施設整備事業で予算の縮小による補助基準額内容の見直しが予想されると

のことです。

議員

当町においてはさほど大きな影響がなさそうですが、民主党も事業仕分けの名の下、国民や地域住民事を考量せず進まないよう当町としても要望をしていただきたい。

町長

私ども地方自治体において一番憂慮しているのは、地方交付税の問題で、現実的には税収も落ち込んでいる中で地方に地方交付税を財政の調整機能として交付をしていただけるかどうか大変心配しております。地方が大変な状況に財政的に陥るということで、地方6団体が国のほうでもまとまっている協議していますが、私どもも町村会を通じてしっかりと要望していかなければならないと思っております。

矢熊 敏男 議員



・国の政権交代による、本町への影響について
・9月議会的一般質問で要望した「文書での公表」について

他

※矢熊敏男議員は平成22年1月12日付けで議員を辞職しました。

政権交代による 本町への影響

議員

私は国の政権交代による本町への影響、9月議会でも要望した文書の公表、町民バス、教育に関する問題等について質問をいたします。8月の衆議院選挙により政権交代があり、約4カ月経ち現在混乱もしていますが、事業仕分け等の公開により、政治が大変身

近になってきました。これからはもし民主党がダメなら現在野党の自民党などが交代していくような、真の民主権

の日本になってほしいと願っています。では具体的に本町町政にどのような影響が出ているのか。特に来年度の予算編成においてはどうか。

町長

いろいろな事柄・事業が見直しをされようとしておりますが、どういうかたちになるのか分からない状況で、私も地方行政を預る者にとっては、財政の調整機能をもった交付税をしっかりとしたかたちの中で運営していただきたいと強い思いを持っています。

議員

例年のような予算編成が難しいと私も思います。継続している事業や関わっている事業計画等について具体的に質問していきます。紀宝バイパス工事、トンネル工事への影響は。

担当理事

現在の進捗状況については389トンネル掘削が完了しています。トンネル掘削については3月中旬に、全線につ

いて発注されます。22年度以降白紙の状態とのことです。

議員

私も委員の生ごみ堆肥化推進に関する事業ですが、先程町長報告の通り、循環型社会の実現ということで大変重要な事業であります。この件についてはどうでしょうか。

担当課長

生ごみ堆肥化推進事業の循環型社会形成推進交付金制度ですが、刷新会議におきまして、当該事業予算要求額の10%縮減という結論が出されておりますが、具体的な内容は不明でございます。

議員

本町は、是非とも循環型社会を実現して全国に発信していったほしい。是非ともご努力をお願いしたいと思えます。東紀州の高速道路、熊野新宮道路、河口大橋、これらは国の事業でありますので、具体的には大変難しい答弁だと思えますが、現状につきまして、影響はどのようなものかお願いします。

担当課長

東紀州の高速道路につきましては24年度の供用開始に向けた整備が進められていると

聞いております。22年度についても、引き続き工事を進める予算を概算要求していただいているとのことです。

議員

東紀州の高速道路は予定通り伊勢神宮の遷宮前に完成するというふうに理解してよろしいでしょうか。

町長

現段階においては24年度中に完成すべく計画に基づいて概算要求をしていただいているとのことです。

議員

熊野新宮道路につきまして、是非とも完成をしていただきたいと思えます。町長が大変熱心に取り組まれております河口大橋についてはどうでしょうか。

町長

河口大橋につきましては、しっかりと河口部に橋を架けていただきたいということでございます。

議員

是非ともこの地域発展のために、高速道路、熊野新宮道路、河口大橋、この実現に向かって先頭に立って頑張っていただきたいと思えます。フェリーの転覆現場視察で鶴殿

港から現場まで船で行ったのですが、鶴殿港の沖の突堤が大変巨大なもので、やはり熊野川の砂利や砂が、井田海岸へ流れにくくなっているなど実感しました。人工的に井田海岸の安全対策・高潮対策・津波対策を積極的にやっていかないといけない。紀宝トンネルのズリ石を入れていただいたわけですが、その後どのような対策が取られていますか。

担当課長

井田海岸につきましては、養浜工事と人口リーフ堤脚保護工と実施していただいているところでございます。今後とも住民の安全で安心の確保のために、当該事業が滞りなく進められるよう鋭意努力していくとのことです。

議員

福祉や教育などに関する事業で、政権交代による影響についてご説明をお願いします。

担当課長

子育て応援特別手当が停止ということです。プラスということで、今年3月末で廃止されておりました生活保護世帯への母子加算が今年12月分から支給再開等があります。

議員

本町の福祉のレベルが下がらないようにご努力をお願いいたします。次に教育のほうはどうでしょうか。顕著なことはございませんか。

担当課長

今後計画する事業として公立学校施設整備事業、建築等々にかかる補助事業の関係は事業仕分けでは、予算削減ということ聞いております。

議員

町民の皆さまに、現時点の影響について、公表しておくようなことはございませんか。

町長

一番大きなのは財政的に危惧をするということでございまして、先程も申し上げましたように地方交付税や交付金等が一体どんなふうになるんだろうかということが一番大きな問題でございます。

文書での公表

議員

9月議会において一般質問で要望いたしました文書での

公表についてです。まず4年前の町長選挙公約のひとつに、産官学協働による新産業の創出の中の、Webシステムの開発について、11月初旬に担当課長より、会議録など文書でいただきました。大変よく理解をできました。是非このシステムを積極的に活用して町の発展につなげてほしい。

町長

地元生産者との連携をしっかりとって、これからの販売・向上に取り組んでまいりたい。

議員

その他の公約の進捗状況や



町民バス

取り組み過程等が、文書でまったく公表されていない。強いていえば、この町は選挙公約や情報公開などに関して無関心で問題意識が低いと私は思います。私は広報専任の担当者を置くことも必要だと思います。やはり説明責任をしっかりとって、町民の理解や協力を得る努力がもっと必要です。

町長

この選挙公約等の実施につきましては、町政運営の基本になるものであろうというふうにも思っております。私からも自分の実績等については、今後ともPRをしてまいりたいと思っております。

— 町民バス

議員

高齢者や交通弱者等のためにも、町民バスは必要であると思います。しかし空バスが見かけられますので財政上等から大変心配です。そこでもっと便利で効率的なシステムはないのかという視点で質問と提案をしたいと思います。町民バスの平成20年度の収支決算及び乗客数等と、問題や

課題は。

担当課長

相野谷線、紀南病院線、浅里鶴殿線の3路線の町民バスを三交南紀交通に運行委託をして運行を行っております。3路線の合計でいきますと年間利用者は9万6493人です。次に収支でありますけれども、全体事業費にいたしますと運行委託費において5139万8千円。運賃収入で765万5千円。県補助金で483万2千円。特別交付金314万9千円。町費744万2千円となっております。特別交付金に対しては80%の助成となっております。土日・祝日の利用者が少ないのが現状です。

議員

丁寧なご説明ありがとうございます。そうしますと町費770万円、これが町一般会計から支出されているのですね。本町では必要経費だと思いますが、それなら、もっと便利な町民バスにしたらと思います。実は11月5日の朝日新聞三重版に、三重県の玉城町での「オンデマンドバス」実証実験のスタートが報道されました。東京大学の

和裕幸教授の研究室が開発したシステムです。65歳以上の高齢者と体の不自由な方を対象として無料で乗せる。8人乗りのワゴン車を元気バスと名付け83カ所の停留所を結ぶ。利用者は2週間前から30分前までに電話で申し込む。ただ玉城町も実験的にやっている。この件について担当部署のご意見は。

担当課長

いろいろ検討していかねければならない課題と考えています。

— 教育問題

議員

明和小学校が来年3月をもって休校する。その後どのような計画をされているのか。また建築物が耐震や老朽度はどういう状況なのかと。

担当課長

休校後につきましては現在、避難所にもなっており、当分の間は地域交流の場所などとして、地域住民の方々に活用していただければと考えます。校舎等の耐震等の状況は満足していることですが、一部崩壊の可能性があ

るという診断結果となっております。

議員

本町の、産官学のパートナーでもある近大高専の移転発表後の本町の取り組みは。

教育長

教育委員会としては、具体的な、働きかけはしていません。

議員

これで一般質問を終わります。ありがとうございます。



市川 潔 議員

- ・定住対策について
- ・熊野川河口大橋、高速道路等について

— 定住対策

議員

紀宝町に住んでもらうためには、人口増とかを考え、住宅地及び住宅を確保することは重要である。紀宝町総合計画の一つ、町有地の空き地を有効に活用し、住宅地の確保による定住促進を図りますということの今の現在の状況についてお訊ねします。

担当課長

ご指摘の第一次紀宝町総合計画では「生活環境の充実」として「住環境の整備」をあげ、「町有地や空き地を有効に活用し、住宅地の確保による定住対策を図ります。」と記載させていただいております。定住対策につきましては、今後も本町の重要な政策となりますことから、住宅地として活用できる町有地は、できるだけ活用してまいりたいと考えております。

議員

町有地を活用したということで、具体的などころはどのあたりでどのようなになっているのですか。

担当理事

鶴殿の駅前の空き地は町有地で、そこは宅地にしてはどうかということで計画させて

もらっております。この土地についてはJRの土地を通らないと町有地へ行けないということがあり、JRのほうではそこへ宅地を造成すると、道路や水路等を設置しなければいけないということで協議の対象にならないが、もし町が町有地に公共的な施設とかを作るということであれば、協議の対象にはなりません。という返事をいただいておりますので、今のところ宅地として活用していくのは難しいかなと考えております。

議員

紀宝町全般的の町有地で、宅地促進の提供する場所がまだあるのかと思いますが、そのあたりの具体的な考えはありませんか。

担当理事

井田の保育所が移転した場合の土地、明和小学校が休校になって、廃校になってから、利用できる可能性があらうかと思われます。

議員

ある程度者詰った段階で土地を有効にしていたかどうか要望し、町長にはご意見をお願いします。

町長

若い人たちに住んでいただいて定住化、また増加を図っていくというのは、これからの政策でも大きな問題になるのではないかと考えており、なお一層の努力が必要かなというふうに思っておりますので、今後とも皆さま方のご指導賜りたいと思います。

議員

不況のあおりで生活が大変で家賃の負担が大きい、都会から帰ってきたときに、紀宝町に住んでもらうために住居を確保することが必要であるということで、町営住宅について当局のお考えをお訊ねします。

担当課長

紀宝町の人口を増加させるためには、一人でも多くの方々に紀宝町へ居住していただくことが必要であり、住居の確保が重要であると認識させていただいております。紀宝町内の現状としては、民間資本によるアパートや借家が数多く建築されており、その数に不足はないものと思われる。低所得者向けの低料金の住宅となりますと、公営住宅の必要性を考えなくてはならないものと思いますが、そ

の検討にあたりましては財政面の考慮も必要に思われますので、ご理解をお願いしたいと思います。

議員

今ここに住生活基本法がありますが、この基本理念として、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策の推進は、住宅が国民の健康で文化的な生活にとって不可欠であることに鑑み、低額所得者、高齢者等の居住の安定の確保が図られることを旨として行わなければならないとあります。住生活基本法案というなかで、公営住宅の供給目標の項目があります。財政上厳しかったら、こういう法律もあることです。このことを含めて担当課のお考えをお願いします。

担当課長

例えば県営住宅を紀宝町に誘致できないかと、もし財政事情の許す限り、町営住宅を建築していきたいときに都道府県、三重県計画のなかに紀宝町も戸数を入れてもらえるような働きかけをさせていただきたいと思います。

議員

住民のことをよく考えてい

ただいた法案だと思えます。町長、よろしくお願いします。

町長

これからの社会状況、少子高齢化のなかで、これからの住環境のあり方を十分検討していく必要があるかと思えます。

議員

空き家情報登録制度についてお訊ねします。

担当課長

空き家情報登録制度を実施するにあたり、宅地建物取引業法により、町が空き家の契約の仲介などを行うことができます。そのため、契約方法などの検討も必要であり、地域活性化につなげていくには空き家利用者、希望者が地域の方たちと一緒に活動を行っていくような地域の受入態勢などの整備も必要かと思えます。

— 河口大橋、 高速道路等

議員

国の政権交代により、住民は高速道路の進捗がどのようになるのか心配する声を聞く

が、河口大橋の要望活動も含め、当局が把握されていることをお訊ねします。

町長

近畿自動車道紀勢線（熊野市・新宮市間）建設促進期成同盟会で平成21年度において本区間の早期事業化に向けた要望活動を関係市町村長・三重・和歌山両県参加のもと実施。また民主党三重県連地域戦略局への要望活動として、紀宝町が関係する近畿自動車道紀勢線建設促進期成同盟会、熊野川河口に橋を架ける会、紀宝バイパス早期完成要望、また七里御浜海岸侵食対策連絡協議会、国道168号整備促進協議会の要望書を紀



現在の熊野大橋

宝町長が代表して提出し、熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会と共に各種団体が抱える問題や地域の実情、対策の早期実現などについて要望をいたしております。町としては現在の取り組み仕組みの中で、できる限りの要望等の活動を実施し、地域の声を国に届けるよう最善の努力をしたいと考えております。

議員

国の事業仕分けて、来年度は必要性や緊急性に乏しい事業に関しては廃止とか見直しという考え方で報道されているが、要は高速道路に関しては緊急性も必要性も十分大切な道路ですから、全然そういう点では心配するところはないと思いますけれど、担当課長のほうに確認します。

担当課長

高速道路につきましては、鋭意要望活動もしておりますし、国からの情報によると、かなりの進捗があるということで、予算を概算要求をいただいているということですが、今後不測の事態がおこれば、また要望も強くやつていきたいと考えております。



西村 喜久男 議員

- ・地震や豪雨などの防災について
- ・環境問題について
- ・薬物乱用の対策について

地震や豪雨などの防災

議員

地震が起きて津波が予想されるときは、一早く避難しなければいけません。特に避難経路でブロック塀の倒壊が心配される箇所があると思います。危険箇所の把握と対策はどのようにお考えですか。

担当理事

町内につきましては、水門等の機能が発揮しなかった場合、主に丘陵地区を除く鶴殿全地区、井田地区の一部、神内川沿いの飯盛地区、神内地

区の一部、相野谷川沿いに鮎田、高岡、大里地区の一部が津波浸水被害の対象となりますが、自主防災組織のタウンウォッチング等で把握しているブロック塀倒壊などの危険な避難路等は自主的に回避をし、迂回路等を使用することになっていると聞いています。

議員

迂回路といいますけど、一刻も早く逃げる必要があると思います。ブロック塀の除去や改修に熊野市では補助金を出しているようです。紀宝町としてはどのようにお考えですか。

担当理事

熊野市では津波想定地域内の避難路の障害物取り壊しが助成事業の対象となっており、60センチ以上のブロック塀、石積みを対象で、10万円を限度に工事費の2分の1の補助をしています。町としても、自主防災・各自治会等の意見を集約し検討していきたいと考えております。

町長

今後とも町民皆さま方と意見を交わしながら、避難路等の整備を進めてまいりたいと

思っております。

議員

耐震に問題がある橋脚の対策の進捗状況と今後の取り組みについてどのようになっていますか。

担当理事

町が管理している橋梁は、橋長15メートル以上が26橋、15メートル未満が109橋、合わせて135橋ございます。平成17年度より橋長15メートル以上の橋梁で地域間を結ぶ主要幹線道路に架かる橋梁について、耐震診断を行い、耐震補強工事を、地方道路整備臨時交付金事業において計画的に進めており、平成20年度末時点で、北川橋・日高橋・石橋の3橋の耐震補強工事が完了、平成21年度につきましても、6カ年計画で事業を進めており、橋長15メートル以上の架設年次の古い順に、今回、耳切橋・清水橋・片川橋・里前橋・宮前橋・井内橋・石ノ前橋を調査する予定で

議員

耐震に問題があった橋梁についてはできるだけ早く実施していただきたいと思

町長

基本的には、救助活動・災害復旧活動に対して、幹線となる道路等の整備からまず進め、それと合わせ避難路的に、緊急的にどうしても必要な橋梁をまず進めていくべきだと思っています。

議員

自然災害の対策は、発生の可能性や人命に関わる危険性レベルについて数値的に評価し、優先順位を決め実施していくことが必要かと思えます。どのようにお考えですか。

町長

治山事業、急傾斜地事業についても、要件が必要で、それを満たせば町の負担も少なく実施していける。そういった方法も検討する必要があると思っています。ただ町単独でいく場合は、限られた予算しか実施できないわけで、地域のバランス・平等性を考え、また地域の皆さま方のご意見をいただくなかで十分検討させていただき、緊急度を要するものから実施させていただきます。

環境問題

議員

地球温暖化防止につながる太陽光発電に対して、川越町などのように自治体独自で補助金を出しておられる市町村もあります。紀宝町としてのお考えはどうですか。

担当課長

町においても、平成18年度から、県の補助事業を活用して、6万円の補助を実施していましたが、平成21年度より、県からの補助金がなくなったことにより町の補助金も、本年度は実施しておりません。町の実績として平成20年度2件とまだ十分な普及啓発に至っていません。今後国・県の動向を見ながら、町補助金について、検討をしたと思います。

議員

地球温暖化ガスの排出権の売買取引制度というのがあり、例えばCO2削減の未達成企業や工場が排出権を購入し、排出ガスの削減値とすることができそうです。紀宝町でも太陽光発電の普及啓発で、補助金制度に取り組んでいたが、その助成した分を排出権として町が確保、それを企業に売買する。そうい

う取り組みについて、検討されるお考えはどうでしょうか。

町長

地方自治体において、売買が実施されたと聞いたことはないですが、東京都はその取り組みをしようという話になっておったと思います。今後とも十分社会状況、国の動向、地方の動向等見ながら検討してまいりたいと思います。

議員

是非とも研究されて、制度が確立されたときは、取り入れていただきたいと思えます。

薬物乱用対策

議員

先日の新聞記事で大阪府立の高校3年生の男子が大麻取締法違反で逮捕されたとありました。紀宝町の実情での対策はどのようなになっていますか。また警察署や、近隣の高校との連携はどうですか。

教育長

年間行事のなかに薬物乱用防止教室等を実施しております。

中学生は全員やっております。小学生は5年生・6年生の高学年を対象に開催しています。それから、児童相談所・青少年育成会、警察署等の方々に街頭啓発活動するなどして薬物乱用防止に取り組んでいただいております。幸いなことに現在まで町内の学校の児童生徒において薬物使用の事案はありません。

議員

警察署の方々と連携を取られ、薬物被害のない明るい紀宝町にしていきたいと思えます。

町有財産

議員

平成19年度の第4回定例会において鵜殿村の土地が1万1千坪あり、工業用地の土地は6千坪ある。貸付収入は184万円ある。宅地の坪単価は250円、雑種地、畑は坪40円である。矢測中学校隣接の坪単価は1762円である。来年4月1日が更新時期である。鵜殿駅周辺の固定資産税は坪1400円である。借地更新は一方的にできない。地主、町と借主との協議はかせない。79件ある借主とどこまで話し合い、町民が納得できる坪単価にするつもりなのか伺います。

町長

社会状況等を踏まえ今後検討していきたい。

担当理事

台帳の面積、貸付の面積が一致するかどうか、場所的に分かりづらい場所もあり、今調査を進めております。年内に調査を終えて来年早々から借主さんと話し合いをしたい。

議員



尾畑 啓嗣 議員

- ・町有財産について
- ・台風18号の被害について
- ・起債の借り換えについて
- ・相野谷川改修について

他

4月1日には円満に話し合いができる。当局は説明責任をすることを3月議会で求めます。

— 台風18号被害

議員

台風18号により御船の上水道タンク横の本管が埋設されている所が崩れた。水道課は、本管の場所が分かる図面がなく、名古屋の探知機を持った業者に依頼している、という。金曜日の雨で泥が流れ、下の民家は大変である。本管をあのまま置いていく訳にはいかない。台風18号の被害箇所90数カ所の一覧表に、この被害はなぜ入っていないのか。

担当課長

当初は民地被害であることが第一点。本管の位置が特定されない、報告時点で記載を控えました。

議員

本管を巻いた擁壁が出てきた。崩壊の原因は何か。昔は地山であった。深い本管を入れるために掘った。そして盛土をした。その上に地主が直角の擁壁を造った。30数年の

間に盛土が下がり、擁壁が倒れた。いつ頃までにやる計画ですか。

担当課長

場所の特定ができました。早急に図面を作成し、有効な方法を地主さんと協議の上で早急に固めたい。

議員

今回の台風でリースハウス被害に76万円補正予算が計上されています。改植への助成する気持ちはありませんか。

町長

自然災害については、農業共済とか個人の方で対応していただきたい。

議員

今回の台風の風速は何メートルですか。

担当理事

40メートル以上だったと思います。

議員

40メートルの風速で成川小学校の屋根は飛んだ。教育長に設計上のミスがなかったのか。施工上のミスはなかったのかと問うたら、教育長はなかったと答えた。写真で復旧工事の写真と最初の施工の写真とみれば、復旧したときのネジは倍にもなっている。今、町長

がいわれたように薄い鉄板にネジを入れたが引っかかりがなく、ネジの数も少なく飛ぶ。今回の台風で屋根の修理が15件、587万円もかかっている。設計、施工については今回のことを他山の石として、保育所建設に生かしていただきたい。検討する気はあります。

町長

先程もいいましたけれども、業者のデータだけを信頼してやるのではなく、設計業者、また施工業者等々踏まえて確認をし合いながら進めていく必要があると思います。

— 起債の借り換え

議員

行政改革、起債の借り換えについて、どうなっていますか。

収入役

昨年の6月の議会で質問いただきました。6%以上を2件、削減額、3千万円ということ。

議員

3200万円と。

収入役

3200万円。一年半が経

過し、年明けの3月を予定しております。削減額は1800万円の予想でございます。

議員

えらい少なくなつたんですね。尾畑さん一年くらいかかるといわれて、もう一年半経つてきた。その間、答弁もなければ説明もない、議会っていうのはそういうところじゃないと思う。早くやらないと残高が少なくなる。鋭意努力することをお願いをしておきます。

— 相野谷川改修

議員

輪中堤造るまで、毎年護岸工事は2億円くらいついていた。一応輪中堤もポンプも完成し、残り宅地嵩上げが残っている。国交省へ相野川のカーブの竹藪から改修を要望してください。その際船着場の復旧も要望してください。

担当課長

今、いわれた場所だけではなく弁慶橋の上流側も町道が下がっていますので要望したい。

議員

相野谷橋から相野川の出合

いまで600メートル河床整備が行われ大変美しくなりました。来年度も1万立方メートルの計画があると聞いております。高岡の旧川の立合の中州の竹藪から取るよう要望してください。

担当課長

工事の進捗もありますが、要望しておきます。

議員

ブラックバスやブルーギルを駆除し、小魚やエビの住める鮎の遡上できる相野谷川にするよう要望してください。町長の合い言葉に、海、山、川に恵まれたというなら、是



相野谷川

非きれいにしてください。

町長

外来種の駆除も大事であり、町として協力できる部分については協力していきたい。

—にほんの里100選

議員

私はあのケヤキに見合う日本一の看板を作るべきだと思います。今、道の駅スタンプラリーが全国的に流行しています。飛雪の滝にスタンプを置いてはほんの里100選ラリーを発信するために、スタンプを公募してはどうか。

町長

前向きに検討させていただきます。

議員

紀宝小船線、見通しが悪く、観光バスの運転士さんが大変迷惑がっています。我々が何回県に要望しても動かないので、ある県会議員さんに頼んだら、予算が取れたと報告がありました。そのような報告はありますか。

担当課長

その報告はございませんが、一般地方道路紀宝小船線

の拡幅につきましては、現在浅里地区において見通しの悪い部分について、県単道路改良、視距改良で、熊谷川河口と小淵川河口附近2箇所し、250mを測量中、今年度に用地買収を行う予定と聞いております。また、大型車両の通行に支障をきたしている立木につきましては、11月末に60日間の間伐採を行い、未施工部分は順次対応していただくよう要望していきたい。ガードレールについては、8月2日に「わがらでやろら道路美化」発起人が中心となって、鮎田から浅里、町職員の有志60名で1500mのガードレールの清掃活動を実施、その中で老朽化しているガードレールの取り替えを要望していたところ、今年度、主に浅里だと思のですが、1050mの施工をしていただける返事がありました。

議員

夜、浅里を車で走ると青い光のガードレールがきれいです。もうひとつ、牛鼻神社から宝寿園までの拡幅を何回も県へ要望しています。是非実現を。

担当理事

災害箇所、11箇所、法面おさえをやっている状況です。重点的にやってほしいと要望し、県会議員のほうへも要望しています。



北山 千恵 議員

・ありあけ号座礁事故について
・農業施策について
・4年間の西田町政総括について

—座礁事故

議員

ありあけ座礁事故・農業政策・4年間の西田町政総括についての3点で質問します。まず、休業補償を支払うという報道もありますが、関係者が十分納得のいく上でのことですか。

担当課長

十分理解の上と聞いています。

議員

この地域での操業者と町内の操業者数は。

担当課長

正組合員は78名で、御浜で40名、紀宝で38名です。

議員

今後の解体作業との絡みで油流出と漁業に及ぼす影響は。

担当課長

現在、船体の移動方法や行程は検討中で、今後報告することです。

議員

3人のダイバーが磯場5カ所で潜水調査をし、水質検査の他に積み荷が散乱しているか、エビが残っているか等調べたと報道されているが、結果はどうでしたか。

担当理事

10日程前から調査が始まったのですが、波が高いこともあり結果は出ていません。

議員

ありあけが座礁している磯場は漁業従事者にとっては心臓部とも言えるほどの重要な磯場であり、あの場所で解体作業をするとなると、漁場や

イセエビ漁の漁場に回復するには10年以上もかかるというわれているそうです。これから操業していく上で大変重要な調査だと思しますので、結果をただ待っているのではなく、協議会の方からも早く結果を知らせてほしい等のリアクションを起こすことも必要かと思いますが。

担当理事

結果について、早く回答してほしいという申し出をしてまいりたい。

議員

漁協側からも求められているように、あの場所で解体するのではなく、違う所でやってももらえるよう町長の方からも要請してもらいたい。

町長

曳航して撤去することで期間短縮につながると考えますし、漁協関係者と共にフェリー会社や保険会社をお願いしたい。

議員

漁協が閉鎖されていることで仲買人や我々の食生活にも影響が出始めている。誰もがいつもの生活に早く戻りたいところですが、安全宣言はいつ頃どこが出すのですか。

担当課長

会社側と漁業者が納得した上で安全宣言をすると聞いています。

議員

事故が起こったことは非常に残念なことですが、今回の事故処理の一環で井田海岸がきれいに清掃され、ごみ一つない状態にしてくれています。時々ボランティアで海岸の清掃活動もされていますが、海で生活の糧を得ている漁協も是非年次計画に浜の清掃も組込んでもらえるよう要望してもらいたい。

農業施策

議員

政権交代がなされ、農業従事者への所得補償がマニフェストでうたわれ、戸別農家の所得補償政策を上げつつ、農業を衰退させるアメリカとのFTAも民主党は推進しようとしています。理解し難いような政策だと思いますが、本町には具体的にどのような影響が出るのか教えてください。

担当課長

23年度からの実施に向け、22年度に全国規模で米戸別所得補償モデル事業、水田利活用自給力向上事業が実施され、この事業が所得補償事業となります。内容は生産調整に従って生産を行う販売農家に対して助成されるものです。本町では2名が対象となっていたのが、小規模農家も対象となることなので、かなり多くなると思います。詳しいことは年明けにならないと分からないということです。

議員

今度の政策で町内の米農家

はどれくらい潤うのですか。

町長

FTAと戸別補償は相反するところもあるのですが、これまででは集落営農というか、規模を大きくして農業者の生活補償をする政策だったのが、新政権になり個々を補償しようとして、要するに現物支給する流れにより自給率を高め農業活動を活発にしていこうということ。生産者にしてみれば良い物を作っても、悪い物でも補償は同じとなると農業者の意欲の問題につながると危惧するところ。本町としては制度をいかに有効活用して農業者の皆さま方の収益につながる努力をする必要があると思っています。

議員

いろいろ情報収集されて、休耕田が無くなるようにしていただきたい。

4年間の西田町政総括

議員

4年間の町政担当で町長ご自身の町政総括をお願いします。

町長

この4年間で深いご理解とご指導を賜った議員諸兄、町民の皆さま方や多くの方々には深く感謝申し上げます。新町発足後、内部不祥事が発覚をし、誠に残念な思いでございました。二度とこうしたことを起こさない体制の確立、信頼回復に全力で取り組んできました。町政を担当するに当たり、5つの約束事をしました。

①町長・収入役・教育長の報酬の減額を始め職員の適正管理、機構改革、指定管理者制度の導入など行財政の健全化を進め、その成果が出ています。

②子育て支援策として保育料の負担軽減、朝夕の延長保育、学童保育や井田・成川施設を遊び場として開放し、子どもたちに喜んでもらっています。

③産業の振興ですが、企業誘致などは非常に厳しい状況で、一次産業の基盤整備等に取り組み、地域振興webシステムの構築を行っています。

④若い人たちの定住化対策の一環として40歳未満の方に住宅取得後の8年間について

固定資産税の半額軽減をしました。

⑤紀宝バイパスについては国土交通省とも連携を密にしながら進めています。熊野川河口大橋については、地域の皆さまと一体となった活動により、国交省直轄による調査が始まっています。

そのほか相野谷診療所の改築、ごみ収集の一元化やリサイクルセンターの整備・身近な社会基盤の整備や防災対策など安心して暮らせる町づくりを進めてきました。今後とも町民皆さま方と子や孫たちが合併して良かったと思っています。ええるような町づくりを進めていきたい。

議員

4年間で議員からも多くの提言や要望があったと思いますが、すでに実施済み、検討中、未実施などに仕分けしますと、どのような割合になっていますか。

町長

少ない財源のもとで重要性・必要性を重点に考え、有利な補助金や交付金事業等を選定した上で、合併特例債等を活用して要望に添えてきたつもりです。



「ありあけ」現地視察



平野 美津子 議員

- ・町長の政治姿勢について
 - ・災害対策について
 - ・紀宝町の農業について
 - ・子育て支援について
- 他

— 町長の政治姿勢

議員

安心できるまちづくりについてどのように考えていますか。支所の廃止による不安を把握していますか。支所の復活は考えられませんか。

町長

18カ所で移動支所を設置させていただいております。これからは高齢者や不便な皆さま方の支えになるような政策の展開が必要と思っています。

議員

議員報酬は議員の提案で全

員一致で決める。これは当局と議会の馴れ合いではないか。

町長

議員定数や報酬の問題は、私としては、それぞれの立場を尊重し具現化していくことも大事であると思います。

議員

報酬や議員定数に関することは住民も監視しなければいけないと思います。

住民の安心安全を守るための姿勢について。

町長

安心安全の生活を確保するというのとは一番基本であると思います。危険箇所や急傾斜地の問題は紀宝町だけでは財政的にも大変厳しい状況にありますので、県・国等の力をいただいて取り組みを進めていくことを基本に考えています。

議員

危険な箇所をリストアップしていただきたい。

担当課長

急傾斜危険箇所、砂防危険渓流地区等はマニュアル化できていますので、いつでも産業建設課で閲覧できます。

議員

財政については自律、自らを律することが必要であると思います。お隣の御浜町では58億円あった借金を21年度決算では42億円になると聞いています。箱物を建てるのと経費がかかります。まず防災計画を立てて命を守ることが必要であると思います。

町長

財政の自立を実施していくのは町だけでやるのではなく、町民の皆さまにご理解いただいてご協力をいただくことが大事であると思っております。経常収支比率が85%になれば健全な財政状況であるといわれています。町民の皆さまとともに力を合わせ財政の健全化を図っていくことが大事であると思います。箱物・箱物ということはよく使われますが、必要な箱物もあります。必要な箱物は建設する必要があります。その箱物によって地域を支えていくことにつながるものも、命を守っていくものもあります。そういったものを総合的に勘案する中で、これからのより良い安全安心の町づくり、財政上も自立して継続できる町づくりに向けて努力を

してまいりたい。

議員

12月現在の町の借金はいくらですか。

担当理事

20年度末現在、一般会計で67億2117万円、水道企業債21億4313万円、浄化槽の関係で3450万円、合計88億9880万円となっております。全部返済するのは20年後になります。

議員

公認会計士を監査委員にしたり専門家と協同して財政分析をきちんとする必要があるのではないか。

— 災害対策

議員

自主防災はどうなっていますか。

担当理事

25組織設立されておりまして。世帯数から見ると50%です。避難タワーの設置については議員さん、区の自治会等の意見を集約する中で検討していきたいと思っています。

— 紀宝町の農業

議員

町独自で農業を援助できないか。施策として中心に据えて農業を応援することが必要ではないか。

町長

農業の後継者の育成は一番大きな問題だと思っています。獣害対策には大変懸念を持っていますので町としてもできる限りの支援をしています。うと思っています。

— 子育て支援

議員

パートで働いていると学童保育を利用することができません。夏休みや冬休みになると1日1200円の学童保育料が要ります。そうすると600円しか残りません。子どもの生活環境・いい生活環境を与えるという施策は親にお金があるが無かるうが必要で。誰でもいけるような学童保育にしていきたい。

町長

学童保育は私の選挙公約でも重要な課題でありました。平野議員は、当初から安くというお話があったと記憶しておりますが、安くすればいい

わけですが運営の問題もあります。子育てのための学童保育だけではなく、男女共同参画のサポートをしていくためにも学童保育は大事であると思います。私は、適正な価格で運営させていただいていると思います。

男女共同参画

議員

男女共同参画基本プランのためのアンケート調査をされましたが問題点について教えてください。

担当課長

紀宝町男女共同参画に関する意識調査を7月末にアンケートで実施しました。アンケートから見えてくる当町の課題を報告します。男女共同参画の内容の理解は半数です。「男女の固定的役割分担意識（男は仕事・女は家庭）」50歳・60歳の方への啓発が必要となつています。子育て中の女性の就労の低さ、復職の際の受け皿の少なさが挙げられます。自治会などの地域活動への積極的な女性の参加が少ない。この課題を踏まえて懇話会委員の方々の意見を伺いな

がら、現在策定に向けて進めております男女共同参画プランに反映させたいと思っております。

PFI事業

議員

使用料の減免ということになると永久的なものだと思います。町財政を圧迫しないか心配です。

担当課長

PFI事業の終わったあとの次の事業展開のほうへ過度な負担を及ぼさないよう財政面にもきちんと補填をする中で事業展開をしたいと考えております。

議員

今、64基（21年度の目標基数225基最小下限値175基）の設置です。進捗状況は悪化していると考えますが。

担当課長

100年に一度といわれる大不況のなかで新築も伸び悩んでいるという社会情勢の急激な悪化は当然でございます。事業実施開始当初から金額を安くすればいいのではありませんかという議会の皆さまからのご指摘や、もう少し安けれ

ばという住民の皆さまの声もあることを踏まえた中で、今回使用料の減免措置を提案させていただきたいと思っております。

※この他に、一人暮らしの高齢者や障がい者などの安心安全の実現、学校教育について質問がありました。



登立 元吉 議員

- ・フェリーありあけ事故について
- ・子ども手当から給食費を天引きすることは可能か
- ・町の教材費は十分か

他

ありあけ事故

議員

同僚議員との重複を避けたと思います。ただ積荷については私も気になりました。リストを見ますと、まあ大丈

夫かな。流出したものについては荷主側にも責任があるように思います。関係者の生活上の問題については報道を見る限り一時的に解決したと考えていいのか。

町長

このことについては一定の誠意ある回答を得たということです。議員指摘の積荷については調査によって明らかになってくると思います。環境の問題についてもフェリー会社に要望し対応していただけるように努力したい。

議員

町には「災害復旧資金貸付規程」があります。これを今回のような場合でも適応できるようなものにしておく考えはありませんか。

町長

これについては自然災害を前提としたものであって、現在6千万円余りの基金をもっています。今回の場合は海難事故ということで相手、原因者がはっきりしています。すると当然原因者が責任をもつというのが筋だと考えます。

給食費天引き

議員

給食費の滞納はどの程度ありますか。

所長

4月1日現在、5校12世帯あります。

議員

新政府が取り組もうとしている子ども手当はその仕方がベストなのかどうか別として、執行されるとなるとあえて聞きたい。手当は福祉課、給食費は教育ということだと思いますが、今福祉課で天引きしているものがあると思うので、給食費も天引きしてはどうかということです。

教育長

もし執行されたなら、天引きできる状況にはなると思います。ただしできるかといったら、私としては法的にかなり難しいと考えます。

町長

ご指摘のように天引きしているものもあります。この件については制度がどうなってくるのか、地方負担がどうなのか、しばらく時間をいただく中でご指摘の部分について研究し、検討する余地があると思います。

教材費は十分か

議員

教育関係でもう一点。公表されている学校への教材費の充当率を見ると三重県は全国平均より低い。本町としては学校現場の要求に对应しているのかどうか。

担当課長

町内8校において学習用教材備品の整備の充実を図っておりますが、学校からの予算的に厳しいという話は聞いておりません。

農政計画立案

議員

次期町政を担当したいという意欲のある町長に農政に関することを伺います。国の農業の根幹に関わる指針が出てこない中で、補助事業は無駄ですといわれていています。町長としては補助金があるうがなかるうがこういうことをやっていきたいという考え方なのかどうか。

町長

ほ場整備のようなハード事業については当然国等の補助

を受けながらということになります。ソフト面については有機農業等を踏まえて町のブランド化、消費拡大に向けた取り組みをしたい。農政が大きく変わろうという状況の中で、農業者の皆さんとも相談させていたく中で、積極的に町としても取り組む必要があると思っています。

議員

大綱説明で「新たな農業施策」を進めるとい非常に意欲的な言葉を聞いています。執行者としてこの考え方はしっかりと持っていたいただきたい。

農家戸別補償

議員

戸別補償制度について説明が不十分です。農家の中には俺ももらえるのではないかと思っている方が多いと思います。さらに戸別補償について柑橘が対象外ではないか。これには大変な不公平感があると思います。

町長

モデル的に水稻をやるというところのようですが、他の作物もあるわけですし、特にみ

かんのことを考えると不公平感はあると思います。このことについては物申していく必要があると考えます。

鳥獣害対策

議員

仕分けではばつさり切られそうです。被害を受ける人、おじいちゃん、おばあちゃんを作ったものが被害にあう。コンクリートから人へというんやったら、老人福祉というんやったら、彼らの気持ちを斟酌（しんしゃく）できないかな。この制度については国は地方でやるように。県がでさなかつたら町が75%持ちますか。意欲的な新しい農業政策をするために町長どうですか。

町長

町としてもできる限りの対応はしてまいりたいと思っています。

議員

街中にまでイノシシの現れる時代です。一つ間違えれば人身事故にもなりかねません。先程のお言葉をお忘れなく。

※この他に、災害復旧工事のスケジュールについて質問がありました。



平成21年第4回定例会



榎本 健治 議員

・若者定住対策について ・介護保険事業について

若者定住対策

議員

紀宝町では平成7年の1万2921人をピークに人口が減少しており、平成17年では1万2648人。また若年層の人口流出が続くことにより、人口が相対的に高齢化しており、出生数も減少しています。紀宝町総合計画では平成28年度における総人口数を1万3000人。総世帯数を5800世帯と目標を設定されており。様々な子育て支援を実施してきましたが、まだまだ人口増対策につなが

っていないと思っております。目標1万3000人に向けて、どのような取り組みを行ってきたのか。

担当課長

特に若年層の定住促進を図る政策により、若者にとって暮らしやすい生活環境の充実を図っていかねばならないと思っております。保育所の施設の充実や、保育料の軽減等、また住宅新築支援等の事業も行ってきましたが、人口が年々減少しているのが現状であります。現在の紀宝町の人口は21年11月末で、1万2340人です。

議員

将来人口推計よりさらに悪化している状況が続いているわけで、ここでしっかりと対策を打っていかないと、目標の1万3000人は到底難しいのではないかと。若者定住に向けて宅地造成をして、若い方々に紀宝町に住んでもらえないかと考えるが。町有地の状況は。

担当課長

教育委員会においての教員住宅等の空き地等で1352・12平方メートル、また今後明和小学校が休校というかたち

で、校舎のところで1680平方メートル、運動場が4723平方メートルございます。総務課関係の町有地関係で、井田中学校跡地が263平方メートル。鵜殿地区において駅前と、旧鵜殿署跡地を含めまして2126・31平方メートル。井田小僧ノ上の団地ですが1万3000平方メートル。

議員

町有地・空き地が増えてきている状況で、宅地造成に向けて年次計画を立て進めるべきではないか。

町長

議員ご指摘のように人口が減っていくのは、私たち町政預かる者として、非常に残念な思いをしています。ご指摘のように若者が定住できる住宅の提供を考えていかななくてはいけない。これから学校の用地も残ってくるし、保育所の建替え等でも出てきます。できるだけ早く住宅の提供ができる体制を進めていきたい。雇用についても増加は難しいが、継続できる体制づくりには努力をしてまいりたい。

議員

合併前に南牟婁郡で若者定

住促進協議会があったが、なぜなくなったのか。

担当課長

合併等が進んできた時期に見直しがあつたと思います。

議員

合併を期に廃止になったと推測できますが、人口減社会の今だからこそ必要ではないか。

町長

これから課長の主導のもとしっかりと進めていきたいと思っています。

議員

この問題は、4年前の一番はじめの定例会で提案しましたが、進んでないのが現状です。実施時期はいつになるのか。

担当課長

新年度からできる限り頑張っていくきます。

議員

町長の2期目に向けての若者定住の考えは。

町長

ご指摘のような今2点ほど住宅の問題と若者定住促進協議会など、若い人たちが元気にこの町で暮らしていける状況づくりが大事だろうというふうに思っておりますので、

定住化対策を懸命に取り組んでまいりたい。

介護保険事業

議員

紀宝町は老人施設に対する待機者は約100名おられるという状況。紀南介護保険の広域連合で進めている第4期計画で、地域密着型の小規模老人施設が、紀南圏域で建てていくことが分かりました。そこで当町はどのように対応して待機者を解消していくのか、9月議会後の状況をお伺いします。

担当課長

南牟婁郡、熊野管内で1カ所ということで、今回公募をかけたということでございます。

この小規模特別養護老人ホームを運営できる資格は、社会福祉法人、あるいは市町の直営で、今回紀南介護保険広域連合が管内の社会福祉法人のほうに問い合わせをし、公募をかけたということで、3つの社会福祉法人が手を挙げて公募に応じたということでございます。3つの応募した社会福祉法人もやはり自分の

管内で待機者がかなりおられます。

例えばこの紀宝町内であります宝寿園についても、100人の待機者を抱えているということ、できるだけこの管内の待機者を解消したいという思いがあつて、3つの社会福祉法人が応募をしたという状況でございます。宝寿園の話を申し上げますと、かなり建物が老朽化しておるということで、募集の機会を得たので応募したということをお願いしております。

町長

私も宝寿園の管理者という立場もございますし、紀宝町長という立場もございます。

これからの福祉施設は、障がい者の施設、保育所等の児童施設等を合わせた複合型で進められています。地域の中で子どもからお年寄りまで一緒に生活できるそういった空間づくりをしていくのが大事ではないかと思っています。

井田保育所の保育所としての利用以外の部分については、小規模特別養護老人ホームを、町長として誘致をしていきたいという思いでございますし、実現に向けて皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

議員

旧井田小学校の跡地のところへ誘致が実現するとなったら大変意義深いものになると思いますし、雇用対策にも大きく貢献しますが、今後誘致を進めていくなかで、地元住民の方への説明は、いつ実施していくのか。

担当課長

宝寿園のほうからお話をいただきましたしたら、福祉課といましては、保育所建設も

最優先の土地でございますので、お互いに協力しあい、方向性を見出して地域へのご説明、ご理解をいただきたいと思っております。この小規模特別養護老人ホーム、第4期計画の21、22、23年と3カ年計画で最終年度の23年度の初旬には運用を開始するもので、準備ができ次第、地域への説明も早々に行わざるを得ない状況でございます。

議員

待機者100名おられるなかで少しでも待機者を解消できる、また住み慣れた地域で生涯過ごせる、地域と密着したなかで生活できる、そういう町づくりをお願いします。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokeiji.com/jpan.htm>)

門脇庸二さんが逝去

平成21年12月23日、町議会議員の門脇庸二さんが逝去されました。満68歳でした。

門脇さんは、昭和58年2月旧紀宝町議会議員として初当選。合併後は在任特例期間を経て、平成19年1月の選挙で当選され、地域の発展のために力を注がれました。

町議会においては、通算6期の任期中、議長、紀宝バイパス対策特別委員長、産業土木常任委員長などを歴任し、議会の発展に貢献されました。

議会では、門脇さんのご逝去を悼み、2月臨時議会において、出席者全員が黙祷をささげました。



平成21年 第3回臨時会

平成21年第3回臨時会は、11月30日（月）に開かれました。

この臨時議会では、台風災害復旧に伴う一般会計補正予算（第4号）の専決処分を承認した後、平成21年8月の人事院勧告に伴う、期末手当等の減額に関する条例4件が原案通り可決されました。

また、新型インフルエンザ予防接種補助費用を盛り込んだ一般会計補正予算（第5号）についても原案通り可決されました。

次回の定例会は 3月5日（金）開会予定です

一般質問は3月23日からです
傍聴は議会事務局で受付ています



議場 傍聴席

可決された議案（12月）

- 工事請負契約の締結（紀宝町立飯盛保育所建替新築工事（建築））
- 監査委員の選任同意
 - ・ 監査委員に川島功さん（鶴殿）の選任に同意しました。
- 公平委員会委員の選任同意
 - ・ 公平委員に山田十司さん（井田）の選任に同意しました。
- 平成21年度一般会計補正予算（第6号）
- 平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成21年度診療所事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成21年度水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 訴えの提起（和解を含む）
 - ・ 紀宝町が井内工業団地に進出した企業に対し、買戻しに基づく所有権移転登記手続等を求める訴えを提起するためのものであります。
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
 - ・ 人権擁護委員に前地幸久さん（井田）を推薦することに同意しました。
- 議会中継調査特別委員会設置に関する決議
- 紀宝町議会議員の定数を定める条例の制定
 - ・ 現在の議会議員の定数15人を1人減員して14人とするものです。

編集後記

町民の皆さまには、平素より町議会に対しまして、暖かいご支援、ご指導を賜り心よりお礼申し上げます。

12月定例会では議員発議により議員定数が1名減の14名に採択されました。この案件は紀宝町行財政改革推進委員会で議長自ら、定数の見直しを委員会に提案し、審議いただいたものです。答申については、「町議会議員の定数については議会の自主性を尊重する。」の一行でした。定数削減を唱える町民の声は十分に届いたかは、疑問である。これからも行財政計画は、紀宝町行財政改革大綱に沿って進められると思います。この編集後記が、皆さまの手元に届く頃には、町長選挙、町議会議員の補欠選挙も終わっていることと思います。結果はどうであれ、町民の皆さま方には、安心安全の住みよい町づくり、議会と共に協力していただけますよう、心から祈念いたします。（文責 石垣）

「議会だより」（第15号）

編集委員

石垣 憲一

向井 健雅

西村喜久男